



「つなげる・つながる」をテーマに、各学部、各分掌部より、本校の取組をお知らせします。

～富屋つなげる・つながるプロジェクト～

富屋で学ぶ、富屋の人と学ぶ

校長 栗原寿理

今年度も元気あふれる新入生をたくさん迎え、397名で令和7年度をスタートしました。

本校の教育目標は

「一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな教育を行い、自信と意欲を育てることによりもてる力を伸ばし、社会において自立的に生きていく基礎を培う」です。

そして、「社会において自立的に生きていく基礎を培う」という部分に重点を置いて、そのために児童生徒が何を学ぶかという指導内容の充実を図ることを今年度の重点目標にしています。

<令和7年度 重点目標>

1 家庭や社会で自立的に生きていく力を育てる指導の充実

(1)家庭生活、社会生活、職業生活につながる学習内容、指導方法の工夫をする

(2)健康で安全に生活する意識と実践力を育成する

(3)家庭への情報提供や連携を工夫し、学んだことを生活につなげる

2 人との関わり、地域との関わりを広げる学習の充実

(1)校内、学校間、地域において人と関わる機会の充実を図る

(2)地域と連携を図り、地域の人材、団体、施設、イベント等を生かした学習活動を工夫する

重点目標達成のために、今年度も『富屋 つなげる・つながるプロジェクト』として、「学びをつなげる」「家庭につなげる」「人をつなげる」「地域とつながる」という4つの視点で取組を工夫していきます。「地域とつながる」という点では、昨年度、多くの方々に御協力いただき、学習活動を充実させることができました。今年度も、新たな連携を築いていきたいと思っています。

その中でも、今年度は特に、富屋地区の皆さんとのつながりを深めていきたいと思っています。先日、富屋地区の各種団体の役員をされている方々が学校見学に来てくださり、本校の児童生徒とともにどのような活動ができるか、話し合いをしました。富屋の皆さんの力をお借りして、富屋という地域を生かした学びを深めていきたいと思っています。

子どもたちが、地域や社会で心豊かにたくましく生きていけるよう、御家庭や地域の方々と力を合わせながら取り組んでいきたいと思っていますので、今年度も御協力のほど、よろしくお願いいたします。



各学部より（小学部）

小学部では、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むために学校間交流を行っています。1年生、2年生、4年生は富屋小学校と、3年生は上河内東小学校との交流です。デカパンリレーや大玉転がし、ボウリングに新聞紙遊びなど、本校の子どもたちが楽しめそうな内容を考え準備していただきました。小学校の友達と嬉しそうに手をつないだり、一緒にたくさん遊んだりし、楽しそうに活動して笑顔をキラキラ輝かせていました。同年齢の友達と関わるのが、とても貴重な経験になったと思います。



教務部

教務部では、保護者の皆様や一般の方々にホームページを見ていただけるよう昨年度「見やすい、分かりやすい、発信力のある」ホームページを目指してリニューアルいたしました。

ホームページには本校の学校生活の様子、授業の様子、行事などの様々な活動の様子が記事としてたくさん掲載されています。

記事の一部を紹介します。

学校全体のバナーには、栃木県障害者スポーツ大会の様子や結果、児童生徒会総会の様子、始業式や入学式が掲載されています。

教材教具のバナーには本校で取り組んでいる着替えの手順表や身振りサイン一覧が載っています。

PTA のバナーには PTA の活動、救急指導講習会やフィットネスヨガ教室、奉仕作業、各種委員会の活動の様子が載っています。

地域連携・ボランティアのバナーには地域連携活動についての記事が多数載っています。地域連携の様子を詳しく紹介しています。

この他にも様々な取組が掲載されています。

ぜひ富屋特別支援学校のホームページを見ていただき学校の様子を知っていただければ幸いです。

富屋特別支援学校 HP
ぜひ御覧ください



児童生徒指導部

児童生徒指導部では、安全意識と実践する力の向上を図ることを目標に安全教育の充実を進めています。その取組の一つとして、6月6日（金）に警察スクールサポーターの方をお招きし、不審者の校内侵入を想定した避難訓練を実施しました。今年度は、訓練の様子を動画で撮影し、訓練後に事後学習等で活用する取組を試行的に行いました。

訓練では、校内放送を聞き、不審者の侵入を知った教師と児童生徒は、各学習場所で、安全な場所に移動し、ドアを施錠し、カーテンを閉めるなどの避難行動を開始しました。児童生徒は教室の中で集まって静かに待機し、落ち着いて行動することができました。訓練後には、各学級で事後学習として、登下校中など学校外での不審者への対応について、動画を活用して振り返りを行いました。



健康安全指導部

健康安全指導部では、児童生徒が自分の身を守る適切な行動をとるための力を高めることを今年度の達成目標として、防災教育・安全教育に取り組んでいます。今回は、これまで実施してきた避難訓練や熱中症、雷の学習について紹介します。

火災を想定した避難訓練では、「①火災報知器の音を聞いて、火災が発生したことを知る。②ヘルメット（防災頭巾）の用意をして避難準備をする。③ハンカチやタオルなどを口と鼻に当て、「お・か・し・も」を意識しながら、姿勢を低くして避難する。④緊急放送や教師の話を聞き、落ち着いて避難する。」ということ、また、地震を想定したショート避難訓練からの引き渡し訓練では、「①緊急地震速報音で、地震が発生したことを知る。②ダンゴムシのポーズで机の下に入り、身を守る行動をする。③引き渡し場所まで安全に移動する。」ということ学びました。熱中症に関しては、熱中症の様々な症状や、こまめに水分をとることや食事をしっかりとることなどの予防方法について、イラストを活用して学習しました。雷に関しては、雷の危険についてや雷の音を聞いたときにどう身を守る行動したらよいか、イラストや動画を活用して学習しました。繰り返し学習することで、子どもたちが避難行動に主体的に取り組むことができるようになってきました。今後も竜巻や地震、火災を想定した実践的な訓練を通して身を守る行動を身に付けることができるように取り組んでいきます。また、防災教育・安全教育の取組や情報を学校ホームページで発信していきますので、お子様と一緒に防災や安全について話したり、考えたりする機会としていただければと思います。

